

資料8  
～76までの項目について、100%を最大として、下記のスケールに最も該当する  
場所に○をつけて下さい。

1

重症集中ケアという特殊な場において初めて率先してケアを実践している。  
～76までの項目について、100%を最大として、下記のスケールに最も該当する  
場所に○をつけて下さい。

重症集中ケア	認定看護師	100(%)
1 重症集中ケアという特殊な場において初めて率先してケアを実践している。	1	1
2 フィジカルアセスメント技術を駆使した適切な看護ケアを実践している。	2	2
3 患者の状態から導かれるモニタリングデータの変化を適切にアセスメントしている。	3	3
4 患者の合併症のリスクアセスメントし、個々の患者に適した予防的ケアを実践している。	4	4
5 患者の活動・行動もしくは様相の変化から、患者の状態を予測し、予防的介入を行っている。	5	5
6 往來の経験と客観的データを基に、患者の経過を予測し、患者の問題を抽出している。	6	6
7 患者のケニアードを的確に予測している。	7	7
8 患者がさらに重複化しないための適切な看護を実践している。	8	8
9 患者を客観的かつ的確にアセスメントするためにアセスマントツールや基準を作成している。	9	9
10 患者の重要な変化の事象およびアセスマント結果を適切かつタイムリーに医師に報告している。	10	10
11 患者危機時に優先度を常に考慮し適切な対処を行っている。	11	11
12 患者の残存機能をアセスメントし、それを最大限に活かした援助をしている。	12	12
13 患者の基本的生活習慣を最大限に維持できるような配慮をしている。	13	13
14 患者の回復意欲を高めるよう適切な援助を行っている。	14	14
15 患者の状態に応じた早期リハビリテーションを推進・実践している。	15	15
16 患者が早期に離床が困難なための適切な援助を行っている。	16	16
17 患者の状態に応じた栄養療法が行われているか否かを適切に判断している。	17	17
18 患者の食に対する要求が満たされたために最大限の援助を行っている。	18	18
19 養食・輸液下嚥能の低下した患者に適切な援助を行っている。	19	19
20 患者の状態に応じた感染予防を含めた適切な感染対策を行っている。	20	20
21 残留尿の皮膚を有する患者に尿瘻予防を行っている。	21	21
22 スキントラブルに陥った患者に適切なスキンケアを行っている。	22	22
23 患者の状態に応じた適切な呼吸ケアを実践している。	23	23
24 患者が人工呼吸器から早期に離脱できるために適切な援助を行っている。	24	24
25 VAP予防のための適切なオーラルケアを実践している。	25	25
26 開腹運動が不安定な患者に適切な対応を行っている。	26	26
27 体温が不安定な患者に対して適切な体温管理を実践している。	27	27
28 麻痺性発熱症を予防するための適切な援助を実践している。	28	28
29 心臓瓣膜患者の意識レベルをアップさせるために適切な援助を行っている。	29	29
30 患者個々の個々の状態にあわせたケアを適切な時期に適切な方法で提供している。	30	30
31 患者のせん妄のリスクアセスメントし、個々の患者に適した予防的ケアを実践している。	31	31
32 不必要な身体拘束を緩和するための適切な看護ケアを実践している。	32	32
33 横臥位補助装置に依存しなければならない患者の安全管理を適切に実践している。	33	33
34 患者に施設されるME検査を安全に正しく取り扱うことができる(異常の回収方法を知っている)。	34	34
35 重症患者が收容される病室の特殊性を理解し、患者快方に合わせた病室環境の調整を行っている。	35	35
36 患者・家族の不安、苦痛が緩和できるように適切な援助を行っている。	36	36
37 患者・家族が有する問題を予知把握し、解決行動がとれる。	37	37
38 患者や家族の力を織り込み、タッチングやコミュニケーション技術を駆使し、適切な援助を行っている。	38	38
39 患者に安心感を与えるよう、タッチングやコミュニケーション技術を駆使し、適切な援助を行っている。	39	39
40 常に倫理的問題に対して適切に対応している。	40	40

分野経験3～5年の看護師

0 50 100(%)

1	1	1
2	2	2
3	3	3
4	4	4
5	5	5
6	6	6
7	7	7
8	8	8
9	9	9
10	10	10
11	11	11
12	12	12
13	13	13
14	14	14
15	15	15
16	16	16
17	17	17
18	18	18
19	19	19
20	20	20
21	21	21
22	22	22
23	23	23
24	24	24
25	25	25
26	26	26
27	27	27
28	28	28
29	29	29
30	30	30
31	31	31
32	32	32
33	33	33
34	34	34
35	35	35
36	36	36
37	37	37
38	38	38
39	39	39
40	40	40

～76までの項目について、100%を最大として、下記のスケールに最も該当する場所に○をつけて下さい。

	■全集中ケア	認定看護師	分野経験3～5年の看護師
41 インフォームド・コンセンスに従わるプロセスを把頭し、必要時適切に介入している。	41	41	41
42 同職者に対し、看護実践を通してケア技術に関する指導を適切に行っている。	42	42	42
43 同職者自身が問題解決できるような適切な支援を行っている。	43	43	43
44 同職者に対して看護ケアの向上が図られるように指導的に関わっている。	44	44	44
45 傷風施設教育プログラムの一端を企画している。	45	45	45
46 傷風施設教育プログラムの一端を実践している。	46	46	46
47 院内のスタッフに、最新のトピックや座席で緊則に思っている事項について講義を行っている。	47	47	47
48 院内教育において一般の看護師と比較して具体的で分かりやすい説明ができる。	48	48	48
49 傷風施設あるいは他の教育施設で重症患者看護の講義を担当している	49	49	49
50 傷風施設の同職者から専門領域のコンサルテーションを受けている。	50	50	50
51 指示された与薬原則の副作用、反応、効果、毒性および禁忌などについてモニタ化評価している。	51	51	51
52 患者の治療・看護に關わるディスカッションを必要時、タイムリーに他職種と行える。	52	52	52
53 医師の力量を判断し、適切な指示が傳れるよう工夫を行っている。	53	53	53
54 日常の看護実践を科学的・研究的視点で評価し、実践している。	54	54	54
55 看護研究において指導的立場で関わっている。	55	55	55
56 効果的な看護ケアを実践する努力を継みを行っている。	56	56	56
57 異なれた質感を上手に活用して、患者のニードに相応したケアや創意工夫を行っている。	57	57	57
58 他職種から患者家族の対応について意見を求められたり、相談されることが多い。	58	58	58
59 同職者の実践モデルとなっている。	59	59	59
60 医療事故に対するリスクマネジメントに優れている。	60	60	60
61 ミスやエラーを起こす回数が極めて少ない。	61	61	61
62 同職者から同じ助言等にいふると安心感があると言われる。	62	62	62
63 他職種からの信頼が厚い。	63	63	63
64 職場の仲間の志気を高めることに大きく貢献している。	64	64	64
65 同職者の中では、知識が極めて豊富である。	65	65	65
66 同職者の中では、技術がとても優れている。	66	66	66
67 同職者の中では、対人關係が優れている。	67	67	67
68 実践者がケアできる看護師の資質を行っている。	68	68	68
69 傷風施設の看護ケア向上を目的に他施設の定期的ラウンドを実施している。	69	69	69
70 スタッフの能力と患者の重症度を的確に把握し、患者に最善のケアが提供されるように調整している。	70	70	70
71 リスク管理の視点で病院内の急救力カード類の物品整備や校一に取り組んでいる。	71	71	71
72 患者サービス向上のために、業務やシステム改善に取り組んでいる。	72	72	72
73 安全にケアを提供するためのケア基準を創けて実践している。	73	73	73
74 実践集中ケア看護を深めるために学会やセミナーに積極的に参加し、自己研鑽を図っている。	74	74	74
75 病院機能評価に向けた業務改善やマニアル整備において中心的な役割を担っている。	75	75	75
76 地域、社会貢献(公開講座などを)を機会に入れた活動をしている。	76	76	76

## 資料9 研究成果の公表予定

発表者氏名	タイトル	発表誌名	巻号	出版年
溝上祐子・田中秀子・積美保子他	WOC看護認定看護師による看護ケアの評価に関する研究	日本創傷・オストミー・失禁ケア研究会誌	第10巻 第2号	2006
道又元裕・尾野敏明・中田 諭他	重症集中ケア認定看護師による看護ケアの評価に関する研究	日本クリティカルケア看護学会誌	第2巻 第1号	2006
瀬川久江・浅香えみ子・菅原美樹他	救急看護認定看護師による看護ケアの評価に関する研究	日本救急看護学会誌	第7巻 第2号	2006
瀬戸奈津子・廣瀬千也子・森加苗愛他	認定看護師による看護ケアの評価に関する研究	日本看護管理学会	第8巻 第2号	2006
瀬戸奈津子・森加苗愛・廣瀬千也子他	認定看護師による看護ケアの評価と検証	看護管理	未定	2006
廣瀬千也子・瀬戸奈津子・森加苗愛他	認定看護師による看護ケアの評価指標とその活用方法	看護	未定	2006